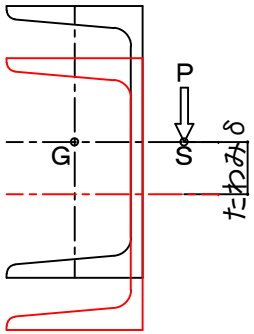
# 【せん断中心と作用荷重の載荷位置の違いによる変形】

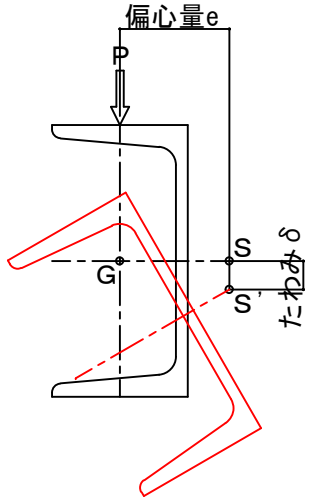
Ｓ：せん断中心　Ｇ：重心　Ｐ：作用荷重

せん断中心Ｓに荷重が作用したとき



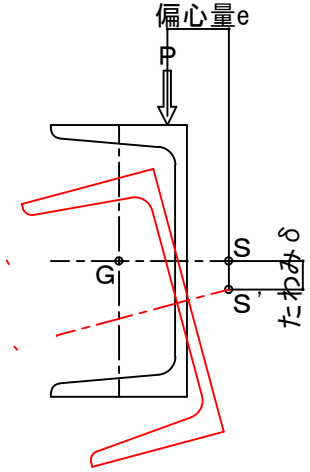

荷重の作用方向のみの変形

重心Ｇに荷重が作用したとき




荷重の作用方向の変形と回転変形

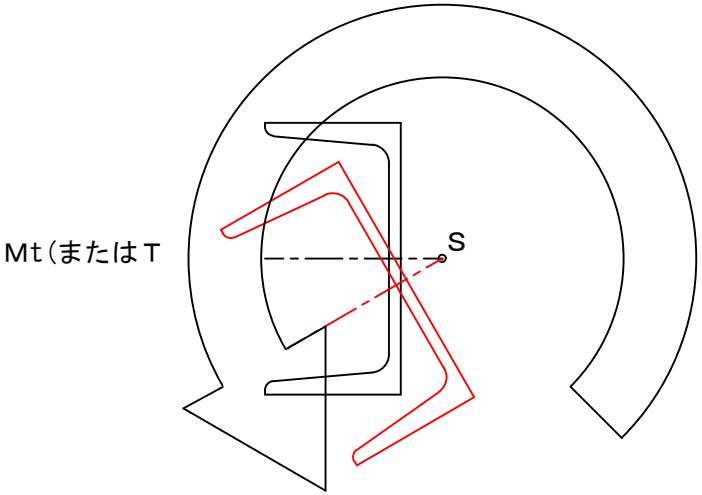
任意点に荷重が作用したとき




荷重の作用方向の変形と回転変形

断面のある特定の箇所に荷重が作用するとき、変形はその作用荷重方向のみで回転変形を伴わない点をせん断中心という。
なお、せん断中心以外に荷重が作用すると、その作用荷重方向の変形とともに偏心量eに比例して回転変形（ねじり）が生じる。
ただし、断面が直交二軸に対して左右、上下対称な断面では、せん断中心Ｓは重心Ｇと一致する。

ねじりモーメント（トルク）が作用したとき




せん断中心Ｓ回りに回転変形